基本ポリシーの設定

ライセンスを設定し、ASDM ウィザードを使用してデフォルト設定に追加します。

- （任意）IP アドレスの変更 （1 ページ）
- ASDM へのログイン （2 ページ）
- ライセンスの設定 （3 ページ）
- Startup Wizard による ASA の設定 （7 ページ）

（任意）IP アドレスの変更

デフォルトでは、次のインターフェイスから ASDM を起動できます。

- イーサネット 1/2：192.168.1.1
- 管理 1/1：DHCP からの IP アドレス

デフォルトの IP アドレスを使用できない場合は、ASA CLI でイーサネット 1/2 インターフェイスの IP アドレスを設定できます。

手順

ステップ 1 コンソールポートに接続し、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスします。ASA CLI へのアクセスを参照してください。

ステップ 2 選択した IP アドレスを使用してデフォルト設定を復元します。

configure factory-default [*ip_address* [*mask*]]

例：

```
ciscoasa(config)# configure factory-default 10.1.1.151 255.255.255.0
Based on the management IP address and mask, the DHCP address
pool size is reduced to 103 from the platform limit 256

WARNING: The boot system configuration will be cleared.
The first image found in disk0:/ will be used to boot the
system on the next reload.
```

```
Verify there is a valid image on disk0:/ or the system will
not boot.

Begin to apply factory-default configuration:
Clear all configuration
Executing command: interface ethernet1/2
Executing command: nameif inside
INFO: Security level for "inside" set to 100 by default.
Executing command: ip address 10.1.1.151 255.255.255.0
Executing command: security-level 100
Executing command: no shutdown
Executing command: exit
Executing command: http server enable
Executing command: http 10.1.1.0 255.255.255.0 management
Executing command: dhcpd address 10.1.1.152-10.1.1.254 management
Executing command: dhcpd enable management
Executing command: logging asdm informational
Factory-default configuration is completed
ciscoasa(config)#
```

ステップ 3 デフォルト コンフィギュレーションをフラッシュメモリに保存します。

write memory

ASDM へのログイン

ASDM を起動して、ASA を設定できるようにします。

手順

ステップ 1 ブラウザに次の URL のいずれかを入力します。

- **https://192.168.1.1**：内部（Ethernet 1/2） インターフェイスの IP アドレス。
- **https://***management_ip*：DHCP から割り当てられた管理 1/1 インターフェイスの IP アドレス。

（注）
必ず **https://** を指定してください。

[Cisco ASDM] Web ページが表示されます。ASA に証明書がインストールされていないために、ブラウザのセキュリティ警告が表示されることがありますが、これらの警告は無視して、Web ページにアクセスできます。

ステップ 2 [ASDMランチャーのインストール（Install ASDM Launcher）] をクリックします。

ステップ 3 画面の指示に従い、ASDM を起動します。

[Cisco ASDM-IDMランチャー（Cisco ASDM-IDM Launcher）] が表示されます。

ステップ 4 ユーザー名とパスワードのフィールドを空のままにして、[OK] をクリックします。

メイン ASDM ウィンドウが表示されます。

ライセンスの設定

Smart Software Manager でファイアウォールを登録します。

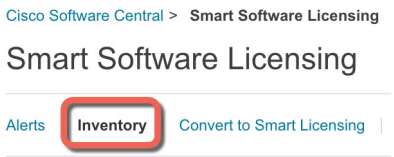
始める前に

ライセンスの取得に従ってファイアウォールのライセンスを取得します。

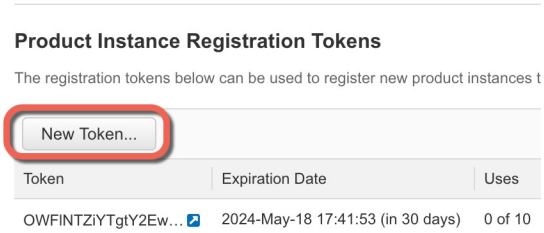
手順

ステップ 1 Cisco Smart Software Manager で、このデバイスを追加する仮想アカウントの登録トークンを要求してコピーします。

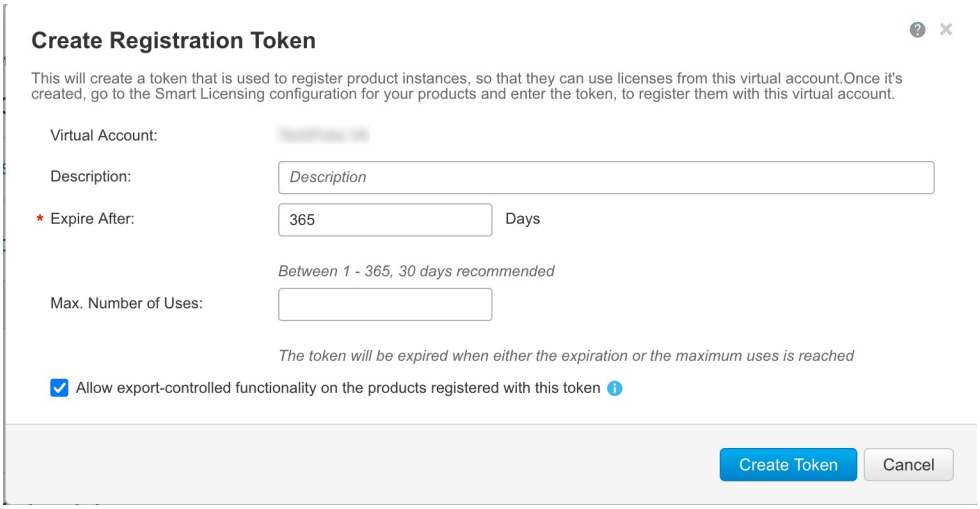
a) [インベントリ（Inventory）] をクリックします。



b) [一般（General）] タブで、[新しいトークン（New Token）] をクリックします。



c) [登録トークンを作成（Create Registration Token）] ダイアログボックスで、以下の設定値を入力してから [トークンを作成（Create Token）] をクリックします。



- 説明
- [有効期限（Expire After）]：推奨値は 30 日です。
- 最大使用回数（Max. Number of Uses）
- [このトークンに登録された製品で輸出管理機能を許可する（Allow export-controlled functionality on the products registered with this token）]：輸出コンプライアンス フラグを有効にします。

トークンはインベントリに追加されます。

d) トークンの右側にある矢印アイコンをクリックして[トークン（Token）]ダイアログボックスを開き、トークンIDをクリップボードにコピーできるようにします。ASAの登録が必要なときに後の手順で使用するために、このトークンを準備しておきます。

図 *1*：トークンの表示

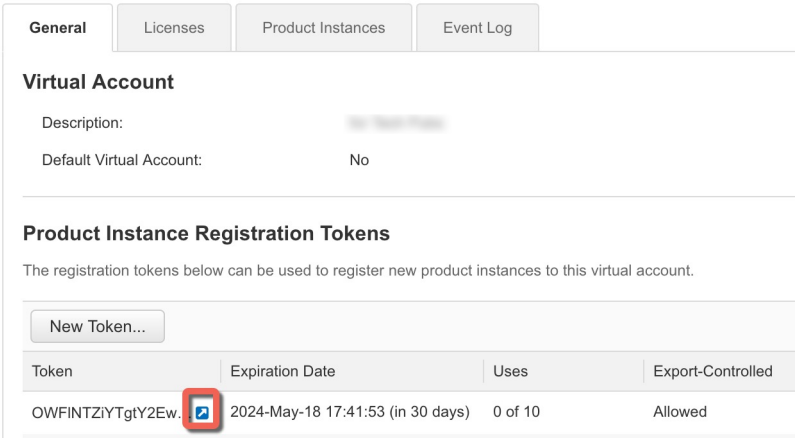
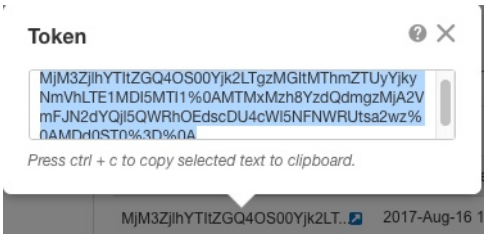


図 *2:* トークンのコピー



ステップ 2 ASDM で、**[設定（Configuration）] > [デバイス管理（Device Management）] > [ライセンシング（Licensing）] > [スマートライセンシング（Smart Licensing）]** の順に選択します。

ステップ 3 ライセンスと資格を設定します。

a) [スマートライセンス設定の有効化（Enable Smart license configuration）] をオンにします。

b) [機能階層（Feature Tier）] ドロップダウンリストから [Essentials] を選択します。

使用できるのは Essentials 階層だけです。

c) （任意） [コンテキスト（Context）] ライセンスの場合、コンテキストの数を入力します。

2 コンテキストはライセンスなしで使用できます。コンテキストの最大数は、モデルによって異なります。

- Cisco Secure Firewall 1210：5 コンテキスト
- Cisco Secure Firewall 1220：10 コンテキスト

たとえば、Firepower 1220 で最大 10 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 8 を入力します。この値は、デフォルトの 2 に追加されます。

- Cisco Secure Firewall 4200：250 コンテキスト

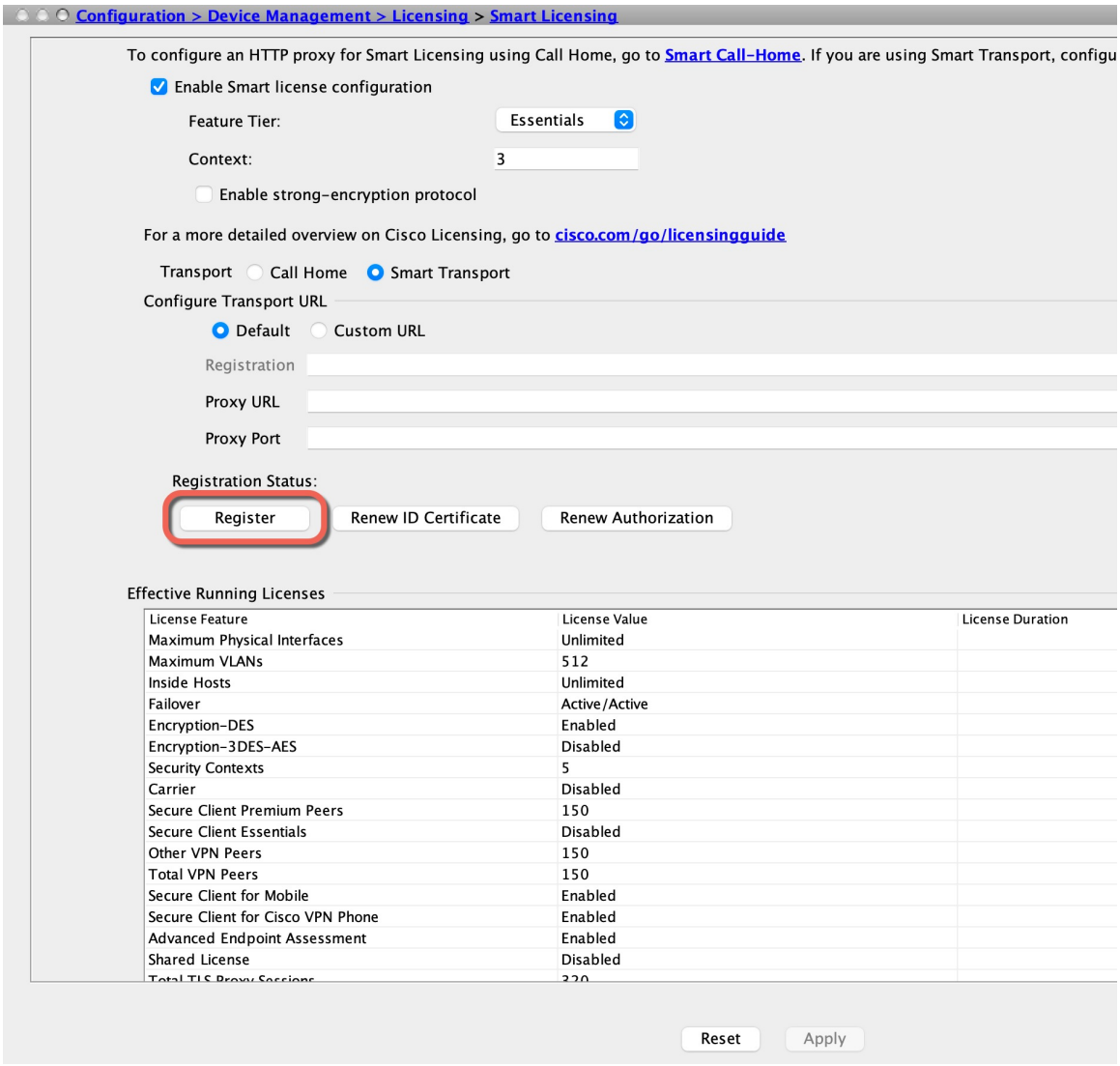
たとえば、Cisco Secure Firewall 4215 で最大 100 のコンテキストを使用するには、コンテキストの数として 98 を入力します。この値は、デフォルトの 2 に追加されます。

d) （任意） Diameter、GTP/GPRS、SCTP インスペクションの [キャリアの有効化（Enable Carrier）] をオンにします。

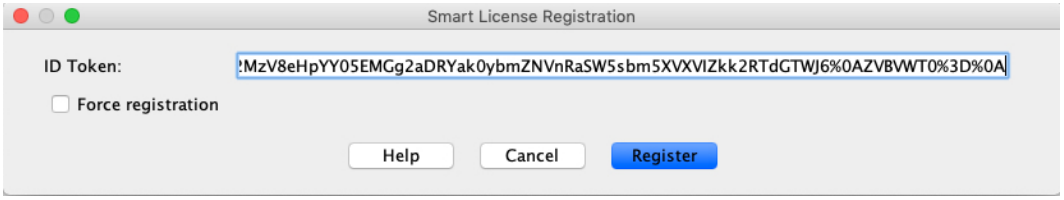
e) [適用（Apply）] をクリックします。

f) ツールバーの [保存（Save）] アイコンをクリックします。

ステップ 4 [登録（Register）] をクリックします。

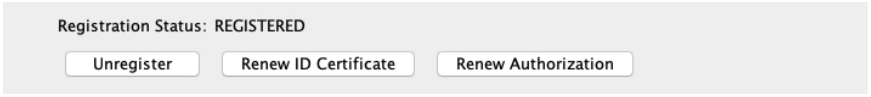


ステップ 5 [IDトークン（ID Token）] フィールドの [Cisco Smart Software Manager] に登録トークンを入力します。



ステップ 6 [登録（Register）] をクリックします。

ライセンス ステータスが更新されると、ASDMによってページが更新されます。また、登録が失敗した場合などには、**[モニタリング（Monitoring）] > [プロパティ（Properties）] > [スマートライセンス（Smart License）]** の順に選択して、ライセンススタータスを確認できます。



ステップ 7 ASDM を終了し、再起動します。

ライセンスを変更する場合、更新された画面を表示するには ASDM を再起動する必要があります。

Startup Wizard による ASA の設定

ASDM を使用する際、基本機能および拡張機能の設定にウィザードを使用できます。Startup Wizard はデフォルト設定に基づいています。

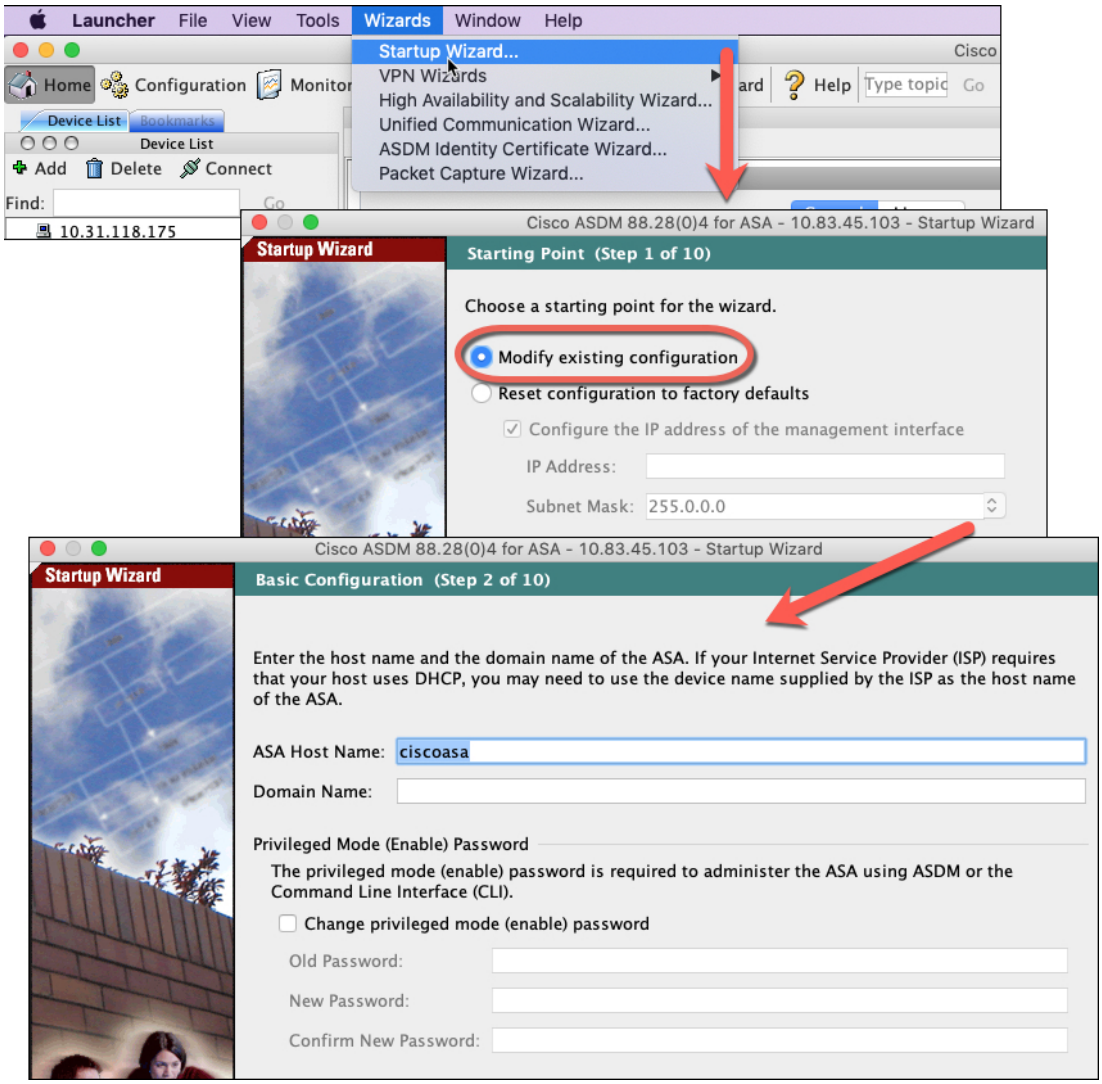
- 内部→外部トラフィックフロー
- 内部から外部へのすべてのトラフィック用のインターフェイス PAT。

[Startup Wizard] では、手順を追って以下を設定できます。

- イネーブル パスワード
- インターフェイス（内部および外部のインターフェイス IP アドレスの設定やインターフェイスの有効化など）
- スタティック ルート
- DHCP サーバー
- その他...

手順

ステップ 1 [Wizards] > [Startup Wizard] の順に選択し、[既存の設定の変更（Modify existing configuration）] オプションボタンをクリックします。



ステップ 2 各ページで [次へ（Next）] をクリックして、必要な機能を設定します。

ステップ 3 その他のウィザードについては、ASDM の一般的な操作のコンフィギュレーション ガイドを参照してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。